

## 令和5年度 特別の教育課程の実施状況等について

静岡県		
学校名	管理機関名	設置者の別
三島市立坂小学校（外 校）	三島市教育委員会	効率

## 1. 学校における特別の教育課程の編成の方針等に関する情報

学校名	特別の教育課程の編成の方針等の 公表 URL
三島市立坂小学校	<a href="https://schit.net/mishima/saka-e/kyouikukatei">https://schit.net/mishima/saka-e/kyouikukatei</a>

※必要に応じて行を追加すること。

## 2. 学校における自己評価・学校関係者評価の結果公表に関する情報

学校名	自己評価結果の公表 URL	学校関係者評価結果の公表 URL
三島市立坂小学校	<a href="https://schit.net/mishima/saka-e/kyouikukatei">https://schit.net/mishima/saka-e/kyouikukatei</a>	<a href="https://schit.net/mishima/saka-e/kyouikukatei">https://schit.net/mishima/saka-e/kyouikukatei</a>

※必要に応じて行を追加すること。

## 3. 特別の教育課程の実施状況に関する把握・検証結果

## (1) 特別の教育課程編成・実施計画に基づく教育の実施状況

- ・計画通り実施できている
- ・一部、計画通り実施できていない
- ・ほとんど計画通り実施できていない

## (2) 実施状況に関する特記事項

※(1)で「一部、計画通り実施できていない」又は「ほとんど計画通り実施できていない」を選択した場合は、必ず記載する。

特になし

## (3) 保護者及び地域住民その他の関係者に対する情報提供の状況

- ・実施している
- ・実施していない

## <特記事項>

新1年生の保護者対象の入学説明会、1、2年生の保護者対象の懇談会において、特別の教育課程に関する説明を実施している。また、HPや市の広報誌を利用して情報提供している。

### 3. 実施の効果及び課題

#### (1) 特別の教育課程の編成・実施により達成を目指している目標との関係

日本や諸外国の文化や言語・考え方を尊重し、世界で活躍できる土台となる外国語を主体的に学習できる児童を育成するため、小学校第1・2学年において、「外国語活動」を新設し、外国語による歌やゲーム等、ALT等とのコミュニケーションの機会を積極的に活用し、聞くこと、話すこと、文字を知ることの言語活動に慣れ親しむ学習に取り組むことを目標としている。

実際、児童アンケートの結果から、児童が外国語に対する不安感や苦手意識を感じることなく、外国語の学習に楽しみながら取り組んでいることが推察される。

一方で、1・2年生の外国語活動で学んだ経験を、3・4年生での外国語活動、5・6年生の外国語科の学習に効果的につなげていくことに課題が見られる。

#### (2) 学校教育法等に示す学校教育の目標との関係

三島市立坂小学校では平成16年度より小規模特認校として認定を受け、農事体験、情報教育、外国語活動の3つを教育活動の柱と位置付け、魅力ある学校を目指している。

外国語活動については、平成22年度から令和元年度まで、小学校第3・4学年の「外国語活動」を35時間、先行して導入した経緯から、より効果的で充実した時間にすることが求められた。そのため、低学年段階に相応する外国語の指導法・指導内容の研究推進が必要となり、令和5年度より本特例を活用し、第1・2学年の「外国語活動」の時間に「生活科」の15時間を充てることとなった。これは、外国語による歌やゲーム等、ALT等とのコミュニケーションを大切にした第1・2学年「外国語活動」が、「生活科」における具体的な活動や体験と関連性が高いと考えられるからである。例えば、見る・聞く・触れる・作る・探す・育てる・遊ぶなどを通して、自分自身や身近な人々の特徴やよさに気付いたり、自分の生活について考え表現したり、生活を豊かにしたりしようとする生活科の目標につながり、生活科「学校の活動」や「身近な人々と関わる活動」「自分自身の生活や成長」に関する内容を補完すると考えている。

実際、1・2年生から外国語活動を実施していることに魅力を感じ、この制度を利用して入学する児童がいる。年度末に行われた学校運営協議会においても、1・2年生の外国語活動について議題に挙がり、児童が活動を楽しみにしていることから、続けていくことについての合意が得られている。

### 4. 課題の改善のための取組の方向性

児童のリフレクション活動を大切にして学習状況等の把握に努めながら、年間授業計画の作成や授業改善に取り組んでいく必要がある。